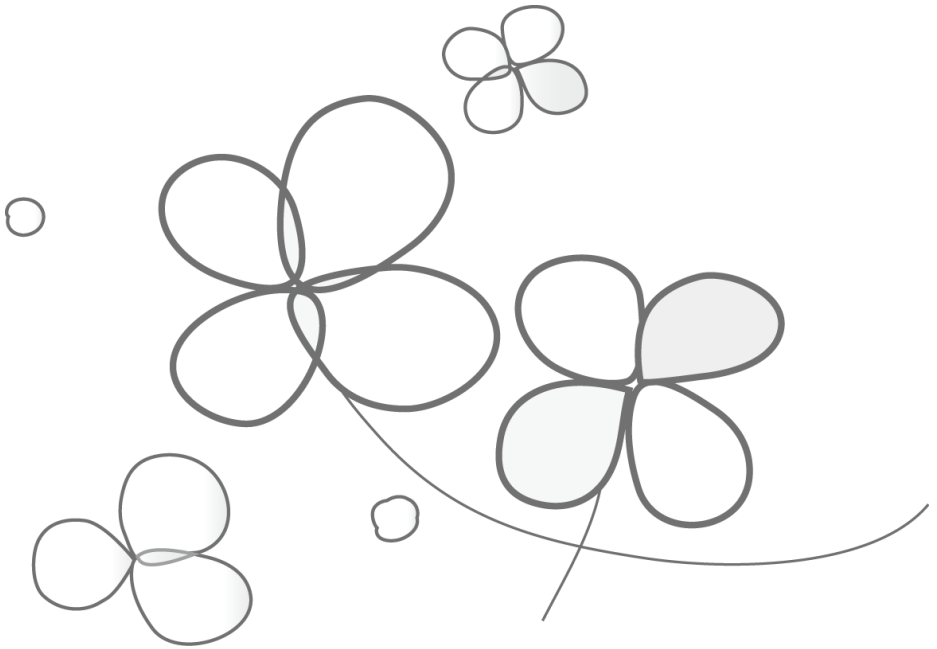


ク ロ ー バ ー

Clover

VOL.01

2012年春号



株式会社 さち コーポレーション
グループホーム さち

ホーム長のご挨拶

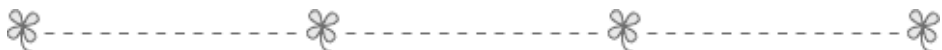


こんにちは。グループホームさちが開所して3年、その間に色々な方々がさちを訪れ、人と人との繋がりを強く感じる日々を過ごしてきました。その中で、私達さちの人間だけでなく、みなさんとお話をしていくなかで、その声を何か形に出来ないかなと考え、多くの方のアドバイスをいただきながら、こうしてコラムを中心とした季刊誌を出版する運びとなりました。

何気ない日々の出来事、つづやき、皆さんから教えて頂いたこと、介護での苦労話、こぼれ話などを、このクローバーに載せていけたらと思います。

三ヶ月に一度の間隔で発行予定であります。たくさんのクローバーが集まり、一つの輪になることを楽しみにしております。

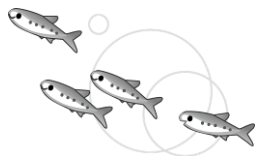
グループホームさちホーム長 さちより



ホーム長の放浪紀 第1回 『どろめ・・・』

先日、私の両親の実家探しに高知県へ40年ぶりの旅をしました。ちょうどその頃、主人の友人も高知にいと聞き、途中で合流することになりました。その友人から、「面白い祭りがあるから行こう」と誘いを受けたのが『どろめ祭り』というものです。名前だけ聞き、田んぼで投げ合いでもするのだろうかと思った私たち。せっかく高知まで旅行に着たのに服が汚れるなんて、と渋る顔をよそに、友人は「とにかく面白いから行こう」と誘われ、香南市赤岡町の国道55号線を通り、室戸岬の海岸線沿いを西に車で走りました。

祭りの会場に近づくにつれ、地元警察官や消防団の方、誘導案内の方と、とにかく大勢の人が交通整理をしています。そして今は閉鎖となった競艇場の駐車場から海岸沿いへ誘導され着いたところはなんと、海岸でした。「あれ？田んぼじゃないの？泥じゃないの？」と戸惑う私に、「『どろめ』って言っただろう。『どろめ』って言うのはシラス（鰯の稚魚）のことだよ。何でそう言うのか知ってるか？泥の中で目だけがきらきら光るから、『泥目』と言うのだよ」と友人。そうだったのか〜！と納得し海岸へ歩いて行くと、今度は、異様な風景画目に飛び込んでくるのでした。（続く）





このコーナーは、グループホームさちの活動をご報告いたします。

いちご狩り会が行われました（4月）

毎年4月上旬になると、グループホームさちでは恒例のいちご狩り会が行われます。今年も4月4日午後から、毎年お世話になっています豊田市公設地方卸売市場のすぐ近くにある『ながた農園』さんへお邪魔し、美味しいいちごを堪能させていただきました。ちょうど春休みの時期ともあり、たくさんの子供さんたちも一緒に参加され、わいわいと賑やかにいちご狩りをする事が出来ました。



浦野酒造さんへ試飲会に行ってきました（4月）

豊田の地酒『菊石』で有名な浦野酒造さん。4月21日に蔵開きが行われるという事で、みなさんとお邪魔してきました。当日は、限定酒や純米酒、自家製甘酒等の試飲もできるということで、お酒の大好きな方も大喜び。思わず新酒を1本購入されてみえました。お酒の苦手な方は、自家製の甘酒を。こちららもふんわり麴の甘い香りがする甘酒にご満足いただけたようです。（※後ろのページで浦野酒造さんのご紹介をさせていただいています。ぜひこちららもご覧下さいね）



グループホームさちでは、特別なご事情が無い限り、お酒の提供もしております。（タバコ等火の物はごめんなさい・・・）やっぱり好きなものはいつまでも続けたいですね。

藤岡地区の藤の回廊が見事です（5月）

桜の季節が終わってしまいましたが、まだまだ豊田市内では各地で様々な花が咲いています。中でも豊田市のやや北部に位置する藤岡地区では、藤の花が今真っ盛り。連休明けに早速行ってまいりました。御作（みつくり）小学校の麓にある藤の回廊は、なんと372mにもわたって藤の花が咲き続けているのだとか。私たちも緩い上り坂を頭上に咲きほころぶ花を眺めながらゆっくりと登ってきました。平日ではありましたが、豊田市以外からも沢山の方が素晴らしいカメラを片手に訪れていました。



さちのつぶやき

ここでは、グループホームさちで聞こえたつぶやいた言葉を少しずつご紹介します。

- ・「私ね、S市へ帰らないと。だって娘が親の面倒を見るのは当たり前でしょ」もう帰らないと、と言い始めた100歳近いYさんにどうして？と理由を尋ねると。親や家族への気持ちはいつまでも残るのだと実感させていただきました。
- ・「このまんま、（満開の桜の景色を）目に焼き付けておかないと」4月のよく晴れた昼下がり、豊田市の桜の名所『水源公園』へドライブに。久しぶりに出かけたKさん。普段目が不自由で困ってしまうことが多いですが、この日観た満開の桜の景色は、そんなKさんの心を少しでも癒してくれたのではないのでしょうか。
- ・「職員さんの名前と顔が覚えられない・・・」この4月、職員の入れ替わりがたくさんありました。入居者の方だけでなく、ご家族の方も職員の名前を覚えるのに一苦勞されたようです（すみません）。各ユニットの所属職員が分かるような工夫を今後検討していきますので、もうしばらくご辛抱くださいませ。

《グループホームさち イベントのお知らせ》

第2回バーベキュー大会を今年も開催します！

昨年も母の日に開催しましたバーベキュー大会。大変好評頂きまして、また今年も母の日に開催することが決定しました。以下の日程で開催しますので、ぜひ皆さんお気軽にお越しくださいね。

日時 5月13日（日） 11時30分～13時（予定）

場所 グループホームさち 駐車場

当日は、バーベキューの他、鮎の塩焼き、ミニ五平餅、焼きそば、豚汁をご用意しております。

お車でお越しの方は、お向かいの豊田調剤薬局さんの駐車場をお借りすることができましたので、こちらをご利用くださいませ。



このコーナーでは、みなさんから頂いたコラムやお便りをご紹介させて頂くコーナーです。

「至福の時間」 豊田市 K. N

「ちょっと燃やすゴミ出してくるから、K君、ばあちゃんと遊んでくれる？すぐくるから。」と、ベッドでほとんどは寝たきりの九二才の母と、二才半の孫に言って家を出る。（ものの三分くらいのことだから、大丈夫。）とはおもっても二人とも年が年だけに、若干心配で、急いで戻り部屋のドアを開けると—

母はハーモニカ、孫はおもちゃの鉄筋で、「チューリップ」を楽しそうに合奏中。

（わあいいなあ・・・この感じ・・・！）

骨折後、リハビリを経て、ベット脇のポータブルトイレになんとか移行できるようになった母は、週三日ほど我が家で過ごし、弟が生まれた孫も時々来ては、やんちゃをしていく。そんな二人との時間は、主人を亡くして四年になる私にとって、とっても大切な至福の時なのだ、やっと気づく—。

ホーム長のご友人からお知り合いになったK.Nさん。ご自身のお母様との介護体験を素敵なエピソードと共にご紹介してくださいました。ありがとうございます。

このコーナーでは、皆さまからのコラムや作文、ご感想やお知恵など、さまざまな内容をざっくばらんに掲載いたします。皆さまからのご投稿お待ちしております。

投稿先：グループホームさち（担当：神谷）

投稿方法：直接手渡しでも、FAXでもEメールでもOK！



拳母<ころも>見聞録 第1回

このコーナーでは、豊田市（時々そのた地域も）に関する見聞きしたことをお伝えしていきます。みなさんからの情報もお待ちしておりますので、ぜひご投稿くださいね。

第1回目は、「あっちこっちそっち」のコーナーでもご紹介しました、豊田の地酒「菊石」で有名な浦野酒造さんです。

元治元年（1864年）、浦野判十郎氏が猿投山の天然記念物「菊石」の名を崇敬する猿投神社から拝受し、当地猿投村（現 豊田市）に創業したのが始まりとのこと。以降代々おいしいお酒を造るだけでなく、美味しくお酒を飲むということで、春の蔵開きの他、毎週土曜日は蔵元の店頭にて試飲販売も行っているそうです。銘酒「菊石」は、昨年の全国新酒鑑評会では金賞受賞されたとのこと。軽い口当たりと芳醇な味は、リピーターも多くいるほどです。

と、お酒のお話しが中心となりましたが、浦野酒造さんには、お酒以外にも名物のものがあります。それが「蔵の100年桜」です。毎年3月下旬ごろになると、敷地内にある大きな桜がそれは見事に咲きほころび、ちょうど春の蔵開きには満開となって観る人を喜ばせています。正に花見酒。浦野酒造さんのある地域は、旧飯田街道が通っており、100年前からこの道を行き交う人たちも、この桜を眺めて名古屋から長野県飯田市まで行き来していたのでしょね。なんだかロマンチックな気分になれます。ちなみに、旧飯田街道はとても道幅が狭いため、車で通ることはできません。お散歩コースにぴったりなので、お酒が飲めない方でも、周りの雰囲気を楽しむのに十分な所だと思います。

桜の季節はもう終わってしまいましたが、秋になると店頭には新酒を告げる緑の杉玉がつるされ、新酒の販売が始まります。この風景もまたこの時期にしか見ることができないので、秋の散策にもお勧めですよ～。

住所	豊田市四郷町下古谷 48
TEL	0565-45-0020
営業時間	月～金および祝日 9時～18時 土曜日の営業は確認された方がよい とのこと
ホームページ	http://www.kikuishi.com/



第2回 観察と記録の学習会のご案内

昨年初めて開催しました「観察と記録の学習会」を今年度も開催することになりました！参加した方からは「現場だけでなく、実生活にも役に立つ！」等、大変好評いただいております。介護職だけでなく、対人援助に関わる方ならどなたでもOK！なぜ記録が必要なのか？深く掘り下げて一緒に勉強しましょう♪

第1回	7月14日（土）	観察とは何か・観察力を身につける
第2回	8月11日（土）	対人援助の観察とは・なぜ記録が必要か
第3回	9月8日（土）	記録をおこなうための基本 福祉施設や関係機関の記録を考察する
第4回	10月13日（土）	言葉のリフレーミング 「場面観察記録法」その1
第5回	11月10日（土）	「場面観察記録法」その2・3

時間は毎回午後13時30分～16時30分です。

会場 グループホームさち2階

費用 25,000円（全5回連続講座）

講師 龍尾和幸氏

（京都 青少年自立援助ホーム「東樹」ホーム長）

お申し込み・お問い合わせは

グループホームさち（tel 0565-35-0805）まで



ご協力ありがとうございます

4月10日～5月10日の間に、いろんな方々からさちにご協力いただきました。

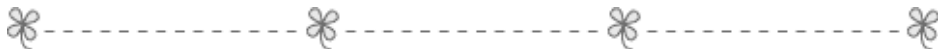
さわやか豊田さん 佐橋澄雄さん 谷口さん 井筒清文さん サークル福寿草さん

(順不同)

ボランティアさん募集

グループホームさちではボランティアさんを募集しています。「ボランティアって何と何か出来ないといけないのでしょ？」と思う方もみえるかも知れません。確かに色々な特技を活かしてボランティアをして下さる方もみえますが、ほんの空いた時間に、入居者の方とお話しをしていただいたり、お茶を飲みがてら一緒に植物の手入れをしたり、ご飯作りを手伝っていただいたり・・・普段の生活にほんの少しのお手伝いをしていただけただけでも大歓迎です。お一人でもお友達同士でお越しいただいても構いません。一緒にこれからの高齢者の生活を考えながら活動しませんか？

<担当：神谷>



編集雑記

京都のあるホームの季刊誌を初めて手にした時、福祉施設でこんなにも読んで楽しい、そしていろんな人たちが参加してつくられるモノがあるのかと衝撃を受けてから早4年。そして岐阜の山奥で同期のグループホーム管理者と我先に素晴らしい広報誌を作ると宣言してから約半年。ようやく誕生することができました。発行にあたり、本当にたくさんの方からお力を頂きました。生まれることの大変さと嬉しさを今実感しております。まだまだ産声をあげたばかりの季刊誌ですが、少しずつ、みなさんと一緒に成長していきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。(まり)

発行／株式会社さちコーポレーション

〒471-0067 愛知県豊田市栄生町3-58 ☎0565-35-0805

<http://www.e-sachi.co.jp/>

発行責任者／神谷 幸子

発行日／2012年5月10日(発行予定月 2月5月8月11月)